



令和 4 年 6 月 7 日、内閣府は、  
「経済財政運営と改革の基本方針 2022」を閣議決定しました。

内閣府は、学校教育の方針として  
「誰一人取り残さず、可能性を最大限に引き出す学びを通じ、  
個人と社会全体の Well-being の向上を目指すこと」を掲げました。

そのためにあるべき資源配分の方針を、次期教育振興基本計画に示すにあたり、  
教育 DX と連動した教育のハード・ソフト・人材の一体的改革を推進し、  
早急に「個別最適な学び」と「協働的な学び」の具体化を実現する方針です。

一体的改革の主な内容

- ・ GIGA スクール運営支援センターの整備
- ・ デジタル教科書の普及促進や EdTech の活用促進
- ・ 小学校の 35 人学級や高学年の教科担任制の推進
- ・ 外部人材の柔軟な確保・活用による教師が安心して本務に集中できる環境づくり
- ・ 研修高度化を含む教師の資質向上 など

この改革を進める際には、家庭環境、学習環境の格差防止や個人情報保護、  
教師の勤務実態や働き方改革の進捗状況、教師不足解消に留意し、  
総合的に推進するとしています。

また、学びの基盤的な環境整備については、ICT を効果的に活用しながら  
不登校特例校を全都道府県へ設置し、充実した指導を促進することや、  
新しい時代の学びを実現する教育環境を整備しつつ、  
学校安全を推進することなどが盛り込まれました。

内閣府は、令和 5 年度予算では、本方針や骨太方針 2021 に基づき、  
経済・財政一体改革を推進する方針です。

▼経済財政運営と改革の基本方針 2022 新しい資本主義へ

～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～（令和 4 年度 6 月 7 日閣議決定）

[https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2022/2022\\_basicpolicies\\_ja.pdf](https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2022/2022_basicpolicies_ja.pdf)

▼概要

[https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2022/summary\\_ja.pdf](https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2022/summary_ja.pdf)

◆◆ トピックス (2) .....  
一人1台端末の活用促進をサポートする情報サイト「情報たまたばこ ～ぱっく～」  
.....◆◆

「情報たまたばこ ～ぱっく～」は、GIGA スクール構想などで導入された一人1台端末の活用促進をサポートする情報サイトです。

授業で使える Google for Education の活用事例や  
初心者のスキルアップに役立つコンテンツなど、  
約80件が現在公開中です。

活用事例には、さまざまな教科の單元ごとに教材イメージ図や  
児童・生徒の操作方法、活用のポイントが紹介されています。

スキルアップには、Google for Education のツールごとに、  
機能の紹介や操作方法がわかりやすくまとめられています。

これらのコンテンツの多くは、A4両面1枚の印刷資料として  
自由にダウンロードすることが可能です。

コンテンツは随時追加されているので、  
一人1台端末や Google for Education のより一層の活用に向けて、  
ぜひ参考にしてみてはいかがでしょうか。

▼一人1台端末の活用促進をサポートする情報サイト  
情報たまたばこ ～ぱっく～ <https://tamatebako-pack.com/>

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■  
□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～  
■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

- ★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2022年6月3日調査）  
☆★ (1) 紛失・置き忘れ：7件 (2) 誤送信：2件 (3) 誤掲示：2件  
☆★ (4) 誤配布：1件 (5) 誤廃棄：1件 (6) その他：1件  
☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2022年5月12日～2022年6月3日に合計14件の事故が発生しました。  
情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、  
漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。



## ◆人間工学から考える情報端末の利用◆

東海大学 情報理工学部情報メディア学科 柴田 隆史

---

GIGA スクール構想により、  
児童・生徒は一人1台の情報端末を使って学習するようになった。  
それは、教育分野のみならず、  
私の専門である人間工学においても大きな変化であると捉えている。  
人間工学とは、人間を中心とした働きやすい職場や生活しやすい環境を実現し、  
安全で使いやすい道具や機械を設計することに役立つ実践的な科学であり、  
人間とシステムとの調和を理解するための学問である。  
それでは、児童・生徒が情報端末を安全で快適に使えているのかを考えてみたい。  
それには、情報端末の使いやすさや情報端末を使う環境などが関係する。

学校で導入されている情報端末は、基本的に成人が使うものと同じである。  
そのため、低学年の児童にとっては大きくて重い端末を使うことになり、  
持ち運びが必要な際には負担に感じる児童も多いかもしれない。  
ディスプレイ技術に関わるため、  
理想的に軽くすることは難しいという現実的な課題はあるが、  
体の小さい児童が用いることへの対応も必要である。  
子供に限らず、ヒューマンエラーは起こり得るものという考えに立ち、  
例えば、端末を落としてしまっても壊れにくいような対策を講じておくことも重要であろう。  
情報端末の使いやすさとしては、  
当然のことながら見やすさや書きやすさ、情報入力のしやすさなど、  
学習に直接関わる多くのことへの対応が必要とされるが、  
児童・生徒の負担を軽減して快適性を高めるという視点が重要である。

情報端末を使う環境という点では、教室が最も大きく関わるであろう。  
学校の先生方はよくご存じの通り、  
教室は学習に適した明るい環境となるように指針が決められている。  
一方で、多くのディスプレイは非常に明るい環境では見づらくなり、  
また、蛍光灯や太陽光などが映り込むと表示内容が見えなくなることもある。  
そのため、使用環境に合わせて画面の明るさを調整したり、  
映り込みを無くすためにカーテンを閉めたり、  
端末の角度を調整するなどの対策が必要となる。  
情報端末の技術進歩が期待される場所であるが、  
一方で、これからは、学習に情報端末を使うことを前提として、  
学校の環境を整えていくことも必要であろう。

人間工学の立場からは、教員と児童・生徒の健康に対する配慮や対策の必要性も強く感じる。

例えば、眼の疲れである。

眼の疲れはさまざまな原因により生じるが、  
学習環境と関わるのは、長時間近くを見続けることで生じる視覚疲労である。  
これは、情報端末に限らず紙メディアでも同様である。

しかし、情報端末の利用においては、  
表示されている内容とユーザー（教員や児童・生徒）が対話的になり、  
眼を画面に近づけやすくなったり、画面に集中しやすくなったりするため、  
使い方に留意する必要がある。

学習に集中することは望ましいことだが、  
眼の負担軽減など健康面とのバランスを考えて、  
授業の中で情報端末が活用されていくと良いと考えている。

#### ◆ 執筆者プロフィール ◆

柴田 隆史（しばたたくし）／

東海大学情報理工学部情報メディア学科 教授。

文部科学省「デジタル教科書の今後の在り方等に関する検討会議」委員。

日本人間工学会「子どもの ICT 活用委員会」委員長。

人の心理特性や生理特性、行動特性などに着目して、  
情報メディアの効果的な活用に関して研究している。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

---

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

---

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が  
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、

下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>